

八戸市新美術館について



八戸市美術館 Hachinohe Art Museum

1. 館名について

• 館名

八戸市美術館

• 英語表記

Hachinohe Art Museum

• シンボルマーク、ロゴデザイン

デザイナー | 加藤賢策(かとう・けんさく)氏(LABORATORIES)

このシンボルマークは、新しい美術館が八戸の未来を描くための「大きな土台」になって欲しいと思い、シンボル上部に大きな円形の空間が現れるように、デザインしています。美術館で生まれるものごとが未来の空白に次々描かれていく姿をイメージして制作しました。(加藤 賢策)

お問い合わせ先

八戸市新美術館建設推進室 031-0031 青森県八戸市大字番町 10-4 TEL | 0178-45-8338(代表番号)

FAX | 0178-24-4531 E-mail | shinbi@city.hachinohe.aomori.jp(令和3年3月まで)

八戸市美術館公式 HP | <https://hachinohe-art-museum.jp> 2月17日(水)ティザーサイト公開しました。

担当者職氏名 | 八戸市新美術館建設推進室 室長 高森大輔、企画運営グループリーダー 三浦一範



2. 館長について

• 館長名

佐藤慎也(さとう・しんや)氏

(日本大学理工学部建築学科教授、八戸市新美術館運営検討委員会委員、八戸市新美術館建設工事設計者選定プロポーザル審査委員会副委員長)

• 任用形態

特別職非常勤職員

• 就任予定年月日

令和3年4月1日

• プロフィール



撮影 | 川瀬 一絵

建築家、日本大学理工学部建築学科教授

1968年、東京都西東京市生まれ。

日本大学理工学部建築学科卒業(1992年)

日本大学大学院理工学研究科博士前期課程建築学専攻修了(1994年)

I.N.A. 新建築研究所(1994年～95年)

日本大学理工学部建築学科(1996年～)

ZKM(カールスルーエ・アート・アンド・メディアセンター)(2006年～07年)

専門は芸術文化施設(美術館、劇場・ホール)の建築計画。そのほか、アートプロジェクトの構造設計、ツアー型作品の制作協力、まちなか演劇作品のドラマトウルクなど、建築にとどまらず、美術、演劇作品制作にも参加。

『+1人/日』(2008年、取手アートプロジェクト)

『個室都市 東京』ツアー制作協力(2009年、フェスティバル/トーキョー)

『戯曲をもって町へ出よう。』コンセプト(2010年)

「アーツ千代田 3331」改修設計(2010年)

『アトレウス家シリーズ』(2010年～)

「としまアートステーション構想」策定メンバー(2011年～17年)

「長島確のつくりかた研究所」所長(2013年～16年)

『←(やじるし)』プロジェクト構造設計(長島確+やじるしのチーム、さいたまトリエンナーレ2016年)

「八戸市新美術館建築工事設計者選定プロポーザル審査委員会」副委員長(2016年～17年)

「八戸市新美術館運営検討委員会」委員(2017年～)

『みんなの楽屋』(あわい～、2017年、TURNフェス2)

『境界を越えて～アジアシリーズのこれまでとこれから～』会場構成・演出(2018年、フェスティバル/トーキョー)、など。



3. グランドオープンの時期について

令和3年11月頃を予定(令和3年夏頃からプレ事業を実施する予定)

4. オープニングプロジェクト (開館特別展)について

「ギフト、ギフトー創造の種」

オープニングプロジェクトでは、ローカルな創造活動によって循環する“ギフト”に着目し、八戸を代表する祭りである「八戸三社大祭」を切り口に、浮世絵や現代アートなどの作品展示や、地域とつながるアートプロジェクトを実施します。

創造活動を介して支え合い、人々がつながり、喜びを共有するなかで、人間が育まれる。そのような場を持つ八戸三社大祭には、貨幣経済とは異なる豊かさを生み出すヒントが散りばめられています。

過去から未来、人から人へと巡る、この地域ならではの“ギフト”を、「100年後の八戸を創造する」ための種として見出し、あらゆる人々と共にその種を蒔き、育てていくことで、新たな美術館は第一歩を踏み出します。

• 会期(予定)

令和3年11月頃～令和4年1月頃

*アートファーマーなどの各種プロジェクトは会期前より実施予定

*オープニングプロジェクトで全館使用するため、貸館利用は令和4年2月頃から開始予定

• オープニングプロジェクトディレクター

吉川由美(よしかわ・ゆみ)氏

(アートプロデューサー、八戸市新美術館運営検討委員会委員、八戸市新美術館建設工事設計者選定プロポーザル審査委員会委員)

• 空間デザイン・会場構成

西澤徹夫(にしざわ・てつお)氏、浅子佳英(あさこ・よしひで)氏、森 純平(もり・じゅんぺい)氏

(八戸市美術館設計者)